

ジーエルサイエンス株式会社 平成17年3月期 中間決算説明会

営業本部

第38期(平成17年3月期)上期の分析機器事業部門の売上計画は5,693,000千円(56億9千3百万円)であり、実績は6,406,059千円(海外部含む)となり計画達成率は112.5%でした。また、売上総利益は2,127,649千円で計画達成率は113.5%、営業利益は559,060千円で計画達成率169.6%となりました。

1. 第38期上期売上計画・利益計画達成概況について

・ 環境プロジェクトX 積極プロモーションの成果

平成15年5月交付、16年4月施行、厚生労働省令第百一号「水道水質基準に関する改定」に関連して、水質分析関連装置の大ヒット(AQUA PT 5000J/AQUAauto70 58台販売 計画達成率145%、アクアトレースASPE699 59台販売 計画達成率147.5% 当該製品分類販売総額746,763千円) 売上構成比11.7%

・ バイオプロジェクト主動の大型高精度分析関連装置の順調な販売

ライフサイエンス市場を中心とした大型分析装置(LC/MSMS)および試料前処理ロボット(ハルト社 MICRO LAB)の継続拡販の成功 当該製品分類販売総額486,109千円 計画達成率141.3% 売上構成比7.6%

・ 当社最優良利益製品群の安定的販売 イナートファミリー

当社のオリジナル開発製品群のイナートファミリーと称されるイナートシル、イナートキャップ、イナートセップの普及浸透 当該製品分類販売総額1,155,265千円 前期比12.8%UP 売上構成比18.0%

・ 当社自社製造装置の堅実な販売

ガスクロマトグラフ(前期比3.9%DOWN)、GC周辺装置(前期比14.6%UP)、自社LC装置群(前期比75.5%UP)、システム装置関連(前期比2.8%UP)合計販売総額約796,441千円 売上構成比12.4%

2. 第38期主力製品群の動向と38期下期および今後のプロモーション

《高利益付加価値製品群》

当社が世界に誇る“イナートファミリー”

LC(液体クロマトグラフ)充填カラム イナートシル、GC(ガスクロマトグラフ)キャピラリーカラム イナートキャップ、試料濃縮用固相カートリッジ イナートセップ

前期第37期にラインナップが完成した高付加価値製品群のイナートファミリーが極めて順調にその生産、販売高を伸ばしております。これらの製品群は当社の登録商標である「イナート」のイメージを継承発展させ、既に国外でも一定のシェアを有するイナートシルに次ぐ大きな柱に育て上げてまいります。

先行製品となりますイナートシルは国外販売数対国内販売数割合が70:30となっており圧倒的に海外での販売数が国内を上回り、当社が世界に誇れる代表的な製品となっております。第38期上期実績は国外国内それぞれ前年度比14.9、2.1%の販売増となっております。今下期も含め年間を通じ継続プロモーションを実施してまいります。イナートキャップはGCキャピラリーカラムとしては唯一国産化に成功し、当社創業以来圧倒的な高シェア

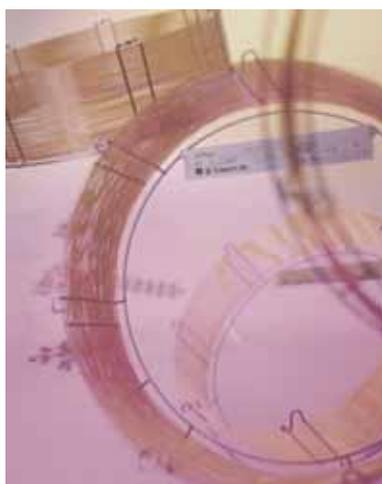
を維持してまいりましたガスクロマトグラフ使用消耗品に、全くの新風を吹き込み活性を促す絶好のアイテムと言えます。しかしながら 38 期上期実績はユーザー数の膠着状況下にて他の同種消耗品群（45 分類中 2 分類）同様わずかな減少傾向にあり、前年度比 3.9% D O W A N となっております。

反面、海外製品に席卷されておりました試料前処理固相カートリッジの中で当社オリジナル製品のイナートセップは第 38 期上期に期待以上の実績となっており、前期出荷数約 20 倍の生産実績となっております。その生産増の背景には、前述の厚生労働省令第百一号「水道水質基準に関する改定」があり、その分析法改定をターゲットに細心のアプローチを実施してきた環境プロジェクト X 活動が奏功したといえます。

イナートファミリー



INERTSIL®



INERTCAP™



INERTSEP™

《環境プロジェクト X 主導による重要アイテム》

2004 新水質基準施行に準拠した水質 VOC(揮発性有機化合物)・かび臭気分析用

試料濃縮導入装置 AQUA PT 5000J、HS7000/7050

AQUA PT 5000 J 及びオートサンプラーは水質分析システム装置の前処理装置として新発売時の最大需要期は過ぎたとはいえ、安定的な販売貢献の期待が大きい我が社随一のヒット製品となっております。37 期も 2004 年水質基準改定・リプレース需要等に支えられ対前年度比 35%を超える実績を樹立いたしました。しかも、その好調を維持し第 38 期首に受注残及び引き合い数は約 60 件を越え年間販売計画台数の 70 台に届く勢いにありその結果今上期実績が 58 台という大量の販売につながっていきました。(平均販売価格 ¥5,500,000) 上期終了時点にて受注残および有効引き合い数は約 30 件ほどあり、下期も上期の大ブレークの数字には届かないものの引き続き販売貢献が期待でき通期にて 95 台の販売予測を立てております。

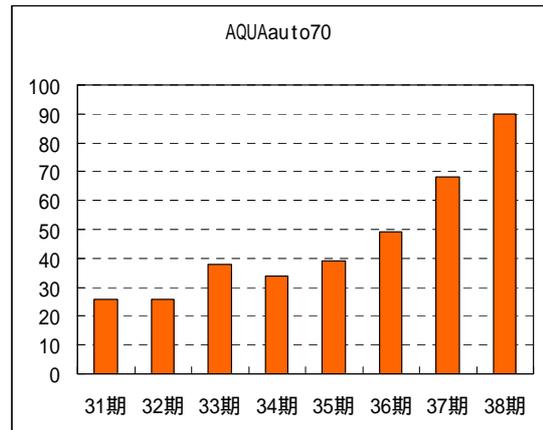
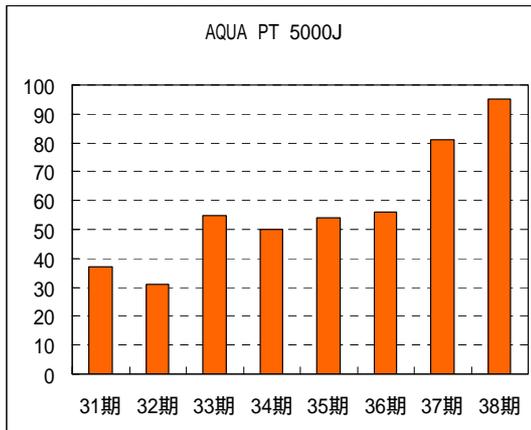
同様にここ数年わずかながら減少を余儀なくされたヘッドスペース(気相試料導入)装置 7000/7000HT/7050 も水質基準改定に対応可能な装置として第 37 期実績も堅実に推移し、第 38 期販売目標台数も前期同数字の 20 台を計画し、半期実績はちょうど半数の 10 台を達成しております。上記装置 AQUA PT 5000 J と水質分析顧客としては需要家は一致してしまいましたが本装置をラインナップ化することで、お客様の選択肢を広げ、当社とのコンタクトを増やし顧客ニーズの囲い込みを行っていくにはその役割が十分にあると思われる今後の拡販も期待されております。(平均販売価格 ¥3,000,000)



AQUA PT 5000J + AQUAauto70



TEKMAR 7000/7050



2004 新水質基準施行に準拠した固相自動抽出装置 アクアトレース 699

前述装置同様 2004.4.1 施行の新水質基準において、農薬を中心に固相前処理装置として第37期驚異的な伸びを示し年間最大ヒット製品と言っても過言とはいえない当社オリジナル最重要アイテムとなりました。

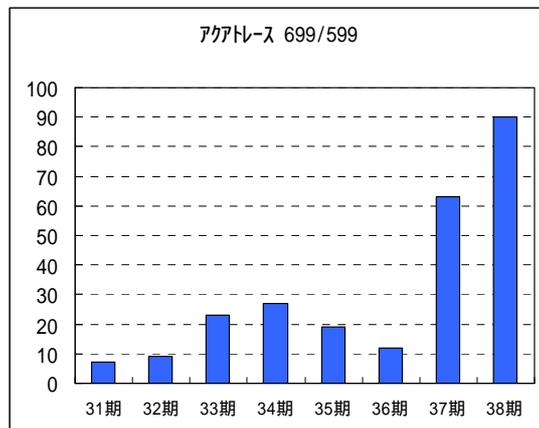
特に、今般の基準改定においては分析精度の向上、有害溶剤の使用量削減等が盛り込まれその主旨に十分合致する装置として引き続き第38期も活況を維持する強力なプロモーションを展開し、過去最大の販売計画 80 台企画し達成に邁進しております。

今上期実績も 59 台にのぼり上期終了時の受注残及び引合い件数も 38 台を数え、17 年 3 月期通期においては過去最高の 90 台に届くと推測いたします。

(平均販売価格 ¥4,400,000)



アクアトレース ASPE-699



アクアトレース年度別販売台数グラフ

室内大気(シックハウス症候群成分)捕集用 SP208 シリーズ

前 36 期に大ブレイクがあり翌年となる第 37 期、そのピークは過ぎたとも推定される SP208 がシリーズ化され、新型 10L ポンプの新規展開、タイアップ品の AERO(アロ)カートリッジなど話題性・優位性は豊富で目標台数を半期でほぼ年間計画を達成することが出来ました。年間においても通期達成率として 144%に及び、需要の底辺拡大に成果が上がっております。

第 38 期販売計画台数は堅実な数字の 230 台とし、上期実績が 122 台までにいたっております。前期計画達成率が 144%にものぼっておりますので今期の最終達成は前期を上回ることは困難かとも思われますが、十分に計画達成するものと思われます。

(平均販売価格 ¥ 250,000)

・室内大気捕集用 SP208 シリーズ



SP-208 1000L



SP-208 10L

《バイオプロジェクト第 38 期動向に関連し》

試料前処理ロボット MICROLAB(ハミルトン社)

第 37 期実績は 6 台の数字となり 36 期実績を大幅に伸ばすことが出来ました。ただ計画台数は 10 台としており、同製品の国内総販売代理店としてまたバイオ市場への重要な販売アイテムとしては未達成感が残り、第 38 期の巻き返しに大きな期待を寄せております。

第 38 期販売計画台数は前期同様 10 台としており、今上期の実績は STAR 2 台、AT PULS2 2 台の合計 4 台実績となっております。(平均販売価格 ¥ 15,000,000)



MICROLAB STAR



Dynamic Positioning System(DPS)

オンライン固相抽出装置 SYMBIOSIS(シムバイオシス)バイオ向け、環境向け

従来機のプロスペクトより、第37期において新型装置 SYMBIOSIS(シムバイオシス)となり、
新型初年度の販売活動を展開してまいりました。

38期においては本来のバイオ向けに加え、環境用システムにおいては前記しました 2004
水質基準改定施行も追い風となり引合い数が徐々に増えてきており、第38期計画台数の
15台達成の具体的プロモーションが展開されております。上期実績はバイオ向け3台にと
どまりましたが、下期においては環境ユーザー向けに受注残もあり販売実績の積み上げに
期待が持てます。(平均販売価格 ¥6,000,000)



SYMBIOSIS(シムバイオシス)環境向け



SYMBIOSIS(シムバイオシス)医薬向け

キャピラリーLC用微量流量ポンプおよびキャピラリーHPLC(高性能液体クロマトグラフ)

キャピラリーLC用微量流量ポンプ MP710、MP711は、第37期計画台数は20台でしたが、
年間実績はキャピラリーHPLCとの合算にて32台となり製品の顧客評価も一段と上がって
おります。(平均販売価格 ¥1,800,000)

第38期は、このポンプを中心にセットアップしたポストゲノム研究分野におけるタンパク
質解析、アミノ酸分析等に有用なキャピラリーHPLC(ハイパフォーマンス液体クロマトグラ
フ)AccuStream(アキュストリーム)装置が登場しました。本装置は待望久しいバイオ市場向け純粋自
社製造装置となりますので積極的に販売プロモーションを実施し、上期東大、三共に実績
が上がりました。(平均販売価格 ¥14,000,000)



キャピラリーHPLCシステム



微量流量ポンプ

キャピラリーHPLC(ハイパフォーマンス液体クロマトグラフ)AccuStream(アキュストリーム)の特徴

- ・ はん用 HPLC(溶媒流量 1ml/min 程度)に比べ溶媒使用量が 1/50~1/100 程度と少なく、安全性・経済性に優れております。
- ・ キャピラリー(毛細管)分離カラムを使用することで高分離が可能となり、微量分析に最適。

《当期下期から来期に向けての新製品群》

新型ガスクロマトグラフ、新型液体クロマトグラフ

新型ガスクロマトグラフ GC-4000 シリーズ及び新型液体クロマトグラフ GL-7400 シリーズがそろって今下期から発売開始となりました。いずれも当社の開発製品群の中で根幹となる製品でありますので今下期及び来期以降の拡販に大きな期待が寄せられております。



GC-4000 シリーズ



GL-7400 シリーズ

トランスPCB用自動クリーンアップ装置 PAC 795・795M

平成 13 年に PCB 特措法が施行され、PCB 廃棄物の期間内処理義務(平成 28 年 7 月まで)が保管事業者に課せられました。合わせて拠点施設の整備及び処理事業の実施、中小企業の処理費用負担軽減のための基金など全国的な処理体制構築が進んでおります。

全国の事業者に保管された膨大な大小変圧器(トランス)、コンデンサー類の中に含まれる PCB 測定用の試料前処理装置として、トランス PCB 用自動クリーンアップ装置を今下期発表しプロモーションを展開しております。



トランスPCB用自動クリーンアップ装置 PAC 795